

睡眠歯科医学基礎講座 2017

入門編

1. 閉塞性睡眠時無呼吸 (OSA)とは

睡眠生理、OSA の病態、合併症、PSG 検査結果の読み方

ささお歯科クリニック 口腔機能センター

佐々生 康宏

一般診療に携わる歯科医療者にとって、睡眠時無呼吸の分野はまだ取っつきにくいイメージがあるかもしれませんが。そもそも睡眠時無呼吸とはどのような疾患なのか、睡眠臨床を始めるにあたり押さえておきたい基本知識を分かりやすく学んでいただきます。

2. 歯科で行う検査

OSA 患者の全身的・局所的特徴、評価法、Oral Appliance 治療効果予測

大阪歯科大学 高齢者歯科学講座

奥野 健太郎

OA 治療の成否は、効果だけでなく、治療の継続性にかかっています。歯科が全身、口腔、咽頭の検査・評価を行うことは、OA の治療効果予測や、患者の治療に対するモチベーションを高める点で非常に有用です。これらを踏まえて、歯科が行う検査について解説します。

3. Oral Appliance(OA)治療について

OA の基礎(作用機序、作製方法、調整、副作用、フォローアップ)と応用(欠損歯列患者への対応など)

東京医科歯科大学 歯学部附属病院 快眠歯科(いびき・無呼吸)外来

秀島 雅之

医療機関で睡眠検査を行った結果、歯科に口腔内装置(OA)の依頼があった場合、どのように対応し OA を作製するか等、OA 診療の実際について解説致します。保険適用の上下一体型 OA の作製法を中心に、そのノウハウをお伝えする予定です。また少数歯残存の欠損歯列者の OA 作製法についても紹介します。さらに OA 作製・調整後の効果の判定、経過観察、医病・歯病連携診療の重要性についても言及致します。

4. 医療連携

医科歯科連携のコツは何か？

あいち小児保健医療総合センター 歯科口腔外科

山本 知由

現在の保険診療における OA 治療は「医師の診断の下」であり、医科からの紹介を受けなければ OA 作製は出来ず、歯科医師は OSA の診断および効果判定を行なう権利を持ちあわせません。医師側は OA 治療に対し責任を持って患者に提供出来る環境を作るべきであり、歯科医師側は有効な OA 治療を提供しなくてはなりません。このような少し特殊な医科歯科連携を勤務医の立場から「睡眠医療に対する医科歯科連携のコツは何か？」につき考えていきたいと思っております。

5. Continuous Positive Airway Pressure (CPAP) 治療

CPAP 治療の概要、利点、欠点、医科歯科連携における要点

岩国医療センター循環器内科

田中屋 真智子

なぜ循環器内科医が CPAP 治療を行うのか。OSA が人体、特に循環器疾患に及ぼす影響を概説し、CPAP 治療の概要、利点、欠点をお話する。さらには循環器内科医として CPAP 治療と OA 治療をどのように使い分けているのか、医科歯科連携へも言及したい。

研究編

1. 睡眠研究の世界的流れとオーバービュー

滋賀医科大学医学部 睡眠行動医学講座

角谷 寛

睡眠は学際的な分野であり、日本睡眠学会の会員も医師、歯科医師、検査技師、看護師など様々な職種が参加しており、臨床医学以外に生理学、公衆衛生、理工学、心理学など様々な所属分野がある。

睡眠時無呼吸に関しても、近年 ASV や CPAP を用いたランダム化比較試験や、システミックレビューが報告されており、それらを基に各治療法の効果と治療効果の限界についても考える必要がある。

2018 年には、WHO の疾病及び関連保健問題の国際統計分類 (International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems, or ICD (国際統計分類)) が 30 年ぶりに改訂され、ICD-10 から ICD-11 となる。ICD-10 では睡眠障害は第 5 章 精神及び行動の障害 (F51 非器質性睡眠障害) と第 6 章 神経系の疾患 (G47 睡眠障害) の 2 章に分かれていたが、ICD-11 では 7 章に睡眠覚醒障害 (Sleep-wake disorders) として独立する予定である。このような、近年の睡眠の国際的な流れについてオーバービューする予定である。

2. Clinical Question の考え方、テーマの見つけ方

大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能治療学教室

野原 幹司

新たな研究のテーマを見つけることは研究者にとっては常に求められることであり、研究生活を送っていくあたり生命線となるものです。テーマが見つからないという状況は、非常にストレスフルな状況といえます。今回のセミナーでは、私がこれまで携わってきた睡眠・嚥下関連の研究テーマが生まれた背景を narrative に概説する予定です。参加者皆さんの研究テーマ発見のきっかけになれば嬉しく思います。

3. Oral Appliance に関する睡眠歯科研究のヒント

九州歯科大学歯学部歯学科 口腔機能学講座 顎口腔欠損再構築学分野

鱒見 進一

近年 Oral Appliance は、国内において広く使用されるようになってきた。一口に OA と言っても様々あるため、どのような装置が良いのかという疑問は誰しもが考えることである。今回、我々が行ってきた研究を紹介するとともに、これから OA の研究を行おうと考えている先生方に、臨床研究の基本的な部分とヒントについて述べたい。

(次ページに続く)

4. 歯科医が三大誌 (Nature, Cell, Science) に挑戦するということ

大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能治療学教室

阪井 丘芳

大会長のご指名により偉そうなタイトルを挙げさせて頂きましたが、若手が身近に感じて頂きたいと思い、本内容の講演をお引き受けいたしました。三大誌は、自分とは無縁の雑誌と思いがちですが、海外ではそうではありません。それぞれ特徴はありますが、Nature と Science は英語さえ理解できれば、高校生がお昼どきにサンドイッチを食べながら読めるような気軽な科学雑誌です。例えば、Nature では毎週平均20本程度の論文が掲載されますが、最近ではオリジナリティーのある論文以外は決して採択されないという化け物雑誌に变身してしまったと言われます。国際的な波及効果は抜群で、採択されれば、いろいろな世界とつながり、1億円の宝くじが当たったような気持ちになります。是非、睡眠歯科領域の研究者も挑戦していただきたいと思います。私も Nature, Science に挑戦し続けて失敗ばかりですが、どのように工夫すれば採択されるか？というように、自分なりの私見を交えたディスカッションができればと思います。

5. 症例報告のススメ：幸島のサル

公益財団法人神経研究所 附属睡眠学センター

對木 悟

宮崎県幸島の野生サルは、「イモを海水で洗って食べる」というユニークな行動から、霊長類研究者の間で恰好の研究対象となっています。もちろん、珍しい行動を報告する意義は深いのですが、それ以外の価値や楽しみについても考えてみたいと思います。

歯科衛生士・歯科技工士のためのイブニングセミナー

Oral Appliance の作り方、簡易検査の体験

古畑歯科医院 いびき睡眠呼吸障害研究所

古畑 升

OSA の第一発見者が歯科医師、歯科衛生士になる可能性が高いと言うことで、治療のキーパーソンだと言われています。睡眠歯科医療には、歯科衛生士と歯科技工士が重要なパートナーであると考え期待しています。

ソムノメッド ジャパン

杉山 透

睡眠時無呼吸症の OA 治療では、正確な OA の製作が歯科技工士に求められます。OA を製作する模型とバイトの考察から、潜んでいるテクニカルエラーを読み取っていきます。また、OA 治療の流れを追いながら製作者側の目線で OA をとらえていきます。

フィリップス・レスピロニクス合同会社

宮原 佳津子

睡眠時無呼吸症候群の検査 (PSG 検査) には 1 泊入院して行う精密検査と自宅でも検査する事ができる携帯型検査がある。検査により、睡眠の状態・呼吸状態・酸素飽和度等を確認することができる。今回は携帯型検査についてご紹介したい。